

令和7年度 横浜市医療局 小学生向け医療体験プログラム
看護体験企画『ヨコイチで看護の「しごと」と「まなび」を体験しよう！』

1. 企画概要

- 1) 日時 令和7年8月8日（金）13:30-16:00
- 2) 会場 看護体験：C4 実習室
病院見学：横浜市立大学附属病院
- 3) 運営 附属2病院看護部、学生ボランティア（令和8年度の内定者）
- 4) 参加者 募集は子25名のところ28名応募あり、締切前に募集終了
→当日キャンセルもあり最終参加人数は、子22名、保護者22名 計44名

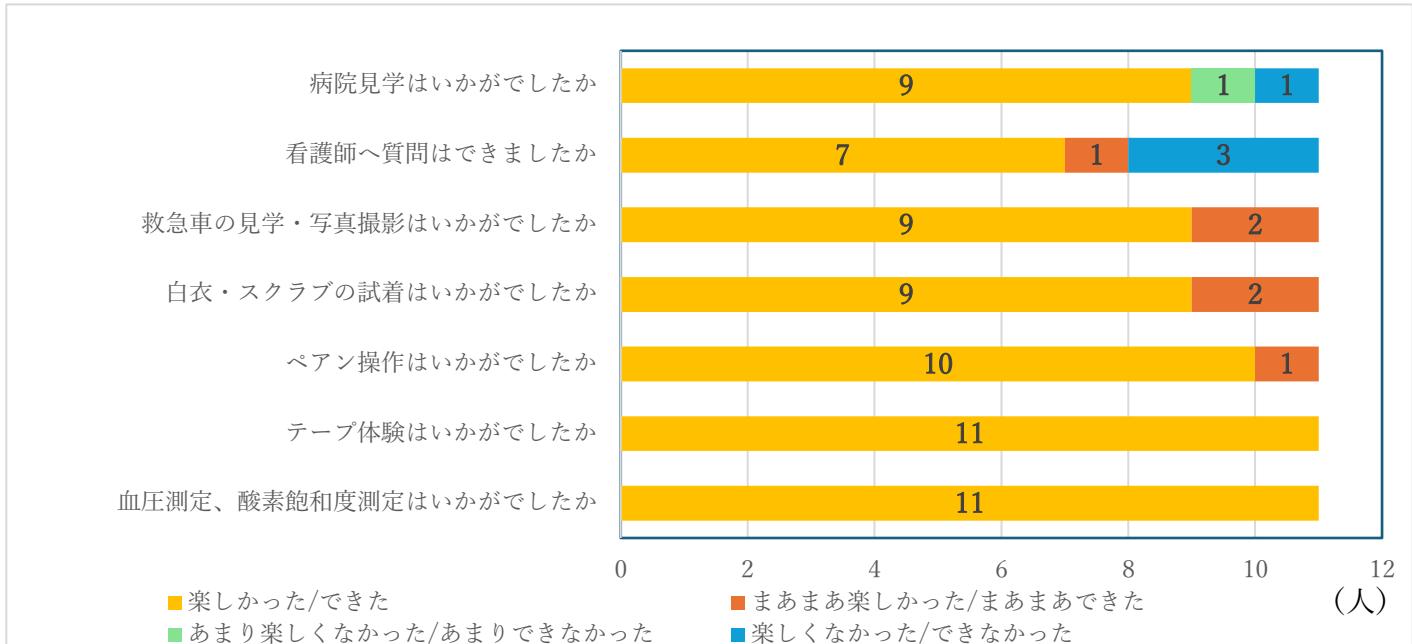


時間	内容	実際の様子
13:00-13:30	受付（C4 実習室） * シーサイドライン駅から看護学科まで、案内表示 * 受付で名札を配布	看護師のおしごと体験 C4実習室はどちら 
13:30-13:45	オリエンテーション * YCU 看護キャリア開発支援センター長 鈴木看護部長の挨拶 * 看護師のお仕事の説明 YCU看護キャリア開発支援センター副センター長 立石副看護部長 * タイムスケジュールとシールラリー台紙を配布し、全体の流れを説明 附属病院 教育担当看護師長 * 看護部長から名刺とプレゼントのお渡し	スライドを用いて看護師や看護部長の仕事について説明しました。 看護部長から参加した子へ名刺と、ささやかなプレゼント（トートバッグ、付箋メモ、シール、ボールペン等）をお渡ししました。   
13:45-14:45	1~3G: 病院見学 4~6G: 救急車見学、看護師体験 【病院見学】 * 1G 子4~6名、保護者4~5名に看護師長または看護師1名がつき、1時間で3か所を見学 * 見学場所 ・手術室 ・患者サポートセンター ・病棟（7-3、8-4、9-3）	【手術室】 キャップやガウンを着けて実際の手術室に入り、手術台の温かさや無影灯を体験しました。 【患者サポートセンター】 外来待合の椅子は、災害発生時には簡易ベッドになることを説明しました。 入院前に患者の情報収集をしていることや外来で勤務している看護師の仕事内容も説明しました。 【病棟】 看護師がペアで、患者の検温をしている場面を見学しました。 (病棟看護師が患者に説明し同意を得ています)
14:45-15:00	休憩	

時間	内容	実際の様子
15:00-16:00	<p>【救急車見学】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 救急車の中に入りました 救急車の前、後ろ、左右いろいろな角度から写真撮影をしました。 * 準備した DMAT のジャケットを着用して撮影をしました。 * 看護師長 1 名と学生ボランティア 1 名で担当しました。 	   
	<p>【看護師のお仕事体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> * センター病院から 副看護部長 1 名、看護師長 1 名、 看護師 1 名 * 附属病院から 看護師長 1 名、看護師 1 名 * 体験はひとつの部屋にブースを設置し、以下の内容を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・白衣、スクラブ試着 ・BLS 体験 ・血圧・酸素飽和度、心音聴取 ・医療用テープ、ペアン操作 	<p>【白衣・スクラブ試着】</p> <p>白衣とスクラブを用意し、選んで試着してもらい、体験や写真撮影をしました。白衣・スクラブは SS・S・M サイズを計 20 着程準備しました。カラースクラブが人気でしたが、白衣を着たいという子もいました。</p>   <p>【BLS 体験】</p> <p>シミュレーターや AED、バックバルブマスクを用いて、BLS の体験をしました。お子さまだけでなく保護者の方も多く参加しました。</p>   <p>【血圧・酸素飽和度測定、心音聴取体験】</p> <p>血圧や酸素飽和度についてリーフレットを用いて説明し、電子血圧計、パルスオキシメーター、W ステートを使用して、保護者の数値測定体験や心音聴取の体験をしました。</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>血圧測定 (けつあつそくてい)</p> <p>血圧 (けつあつ) っていうのは、「血 (ち)」が体の中を流れるときに、血管 (けつぼん) という管 (くだ) にかかる「おし」の強さのことだよ。</p> <p>たとえば、ホースで水を流すと、ホースの中に水の力がかかるよね? それと同じで、血が流れると血管に力がかかるんだ。</p> <p>高すぎても低すぎても体に良くないよ!</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>酸素飽和度測定 (さんそほうどそくてい)</p> <p>酸素飽和度 (さんそほうど) っていうのは、「血 (ち)」の中の酸素 (さんそ) を体の中どこに流すか。</p> <p>その酸素は、血 (ち) にのって体のいろんなところに運ばれていくんだよ。</p> <p>酸素飽和度 (さんそほうど) っていうのは、「血 (ち)」の中には、酸素 (さんそ) があるからをパーセント (%) であらわしたものなんだよ!</p> <p>100%が一番いい値 (あたい) だよ!</p> </div> </div>

時間	内容	実際の様子
15:00-16:00	<p>【看護師体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> * センター病院から 副看護部長1名、看護師長1名、 看護師1名 * 附属病院から 看護師長1名、看護師1名 <p>* 体験はひとつの部屋にブースを設置し、以下の内容を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白衣、スクラブ試着 ・BLS 体験 ・血圧・酸素飽和度、心音聴取 ・医療用テープ、ペアン操作 	<p>【医療用テープ、ペアン操作体験】</p> <p>医療用テープを用いて、負担の少ないはがし方の体験や、チューブを流れる水をペアンで止める体験をしました。普段触れることのないペアンや注射器の体験は新鮮で、お子さまも保護者も喜ばれていました。</p>    
終わりに	<p>【看護師への質問コーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 最後に看護師へ質問する時間を設けました。 認定看護師や看護学生から回答してもらいました。 	<p>質問は、「どうして看護師になろうと思ったんですか」「看護師のお仕事の中で好きな仕事はなんですか」「看護師になるにはどんなことを頑張ればいいですか」など、体験中も含めて子どもたちから多くの質問がありました。</p>  

【アンケート結果】アンケート回答数 22 人 (回答率 50%)



【アンケートから一部抜粋した参加者からの感想】

- 私は、白衣、スクラブの試着をして、心臓マッサージ、AED をしたのが 1 番楽しかったです！そして看護師さんにたくさん質問できたので、病院、看護師さんのことがよくしれて、すごく良かったです！また看護師体験をしたいです！
- 親子共々とても楽しく、あっという間に感じました！ 案内&リマインドメール、駅からの道案内に始まり、事前の班分け、配布物やスライドの分かりやすさ、滞留することのないグループ行動など、全体的な手際の良さやホスピタリティは「さすが！」といった感じでした！
- 看護師ときいて何となくイメージできるけど、実際に関わりがないからよく知らない…と言っていた子供にピッタリハマったイベントでした。
- 手術室見学は勿論ですが、意外とテープ体験やペアン操作、血圧測定など、自分でも出来た！と感じられる企画が心に残ったようです。
- もし次回もありましたら、小学生が習う教科が医療のお仕事のどんな部分で役立つかを具体的に教えてもらえると、子ども勉強をする意欲が湧くと思います。最後に、保護者も一緒に体験させていただきとても興奮しました。またぜひ参加したいです。

【担当者の所感】

募集について

- 募集締め切り後も多数申し込みの問い合わせがあり、ニーズがあることも分かったため、開催時期や回数等を検討する。
- 私用があるため参加する子だけを残して会場を離れた保護者や、申し込みとは別の保護者が会場に子を連れてきた保護者がおり、お子さまだけで参加した参加者が 2 名いた。次回は保護者もともに参加することを分かりやすく明記する。

参加者について

- 暑さの厳しい日であったが、体調不良者等はなく全員が最後までイベントに参加することができた。
- 当日連絡なく欠席された参加者が 3 組（子 3 名・保護者 3 名）おり、グループ人数に差が生じたが、時間調整を行い全ての参加者が体験や見学を実施できた。
- 当日は横浜市医療局の医療局長と地域医療課係長の計 2 名の見学があった。

体験内容について

- 白衣、スクラブ試着は好評であったが、洋服の上から着ることで冷房のある会場内でも暑さを訴える子がいたため、次回は体験前に白衣、スクラブに着替える時間を設けるかなども検討する。
- アンケート結果を参考に、今後は小学生の履修教科とも関連をもった体験や説明を工夫する。
- 看護師への質問についてアンケート回答で「楽しくなかった／できなかった」という回答が 3 名であった。看護師への質問は全体に対して問い合わせて答える形にしたため、全員の子が質問できる環境ではなかった。次回は全員が質問する機会がつくれるよう工夫する。

運営全体を通して

- 企画運営を担当した私たちも、医療や看護に関心のあるお子さんや保護者の方たちと交流する機会となり、楽しい時間を過ごすことができた。
- 当日の運営者は計 15 名であり、内訳は、附属病院 9 名（看護部長 1 名、教育担当副看護部長 1 名、看護師長 5 名、看護師 2 名）、センター病院 3 名（副看護部長 1 名、看護師長 1 名、看護師 1 名）、学生ボランティア 2 名（令和 8 年度内定者）であった。
- イベント開催の様子は、病院ホームページ、病院インスタグラム、地域貢献センターホームページへの掲載を予定している。